

# 上越市議会 各層との意見交換会 開催記録

上越市防災士会 × 総務常任委員会



【日時】 令和3年4月13日(火)

17:30～19:00

【会場】 木田庁舎 第2委員会室

# 上越市防災士会 × 総務常任委員会

テーマ 「防災士の役割・市民の防災意識の向上へ」

	意見
1	職員全員が防災士の資格を取得する自治体もある。防災士という肩書きを持つことで意識も高まると思うので、ぜひ資格を取得してほしい。
2	町内会長が防災士をどう活用するかが大きな課題である。まずは町内会長に防災士を理解してもらうことが大切。議員には、町内会長と防災士をつなぐ役割をお願いしたい。
3	町内会長は、短期間で交代してしまうことが多い点に課題がある。防災士をうまく活用してもらうよう、議会として町内会長の皆さんに話をしてほしいと思う。
4	日本防災士会に議員の会がある。熊本地震の時にも活躍したようだ。是非入っていただきたい。
5	今冬の大雪はとても大変だった。女性防災士が市民アンケートを実施し、122名の市民の方の声を得ることができた。その中には、近隣の人と協力しながら乗り越えたという話もあった。除雪作業に子どもが一緒になって取り組んだ、近所を思いやる声かけがあった、など地域の人とのコミュニケーションが取れたという良い点もあった。防災士としては、気になるお家を訪問したり、買い物のお手伝いをしたり、自分ができる範囲のことを工夫しながら実施した事例が多かった。
6	地域通貨を使った助け合い事業を実施している町内では、高齢者が地域通貨を使って、雪囲いや除雪の手伝いをしてもらうような仕組みにしている。防災士一人では難しいところをそういった制度で助け合う取組は、町内会独自でできる事業であり、大切だと考えている。
7	空き家が多く、積雪により危険を感じた。今後大雪になった時にどう対応したらいいか悩むところがある。今後の空き家対策等を考えてほしい。
8	防災士の役割に限らず、雪かきなど、できる人がやるということが大切。
9	避難所運営で必要なことは、時間によって大きく変わってくる。初動の時は、誰がやっても同じかもしれない。時間が経った時に、防災士が知識や経験をいかしながら、冷静に取り組んでいく必要が出てくる。避難所の運営訓練は毎年実施している。実際に避難所運営を経験した人の話を聞いていかしていく。
10	AEDを町内会で購入したところ、市が購入したものではないとの理由から設置を待ってほしいと言われた。本来であれば市が設置すべきところであり、AEDが適切に設置されるよう求める。
11	避難所の設営を担当する市職員の割り振りが、1,000人規模の避難所に3人などと少なすぎる。感染症対策などの役割が増えていることもあり、さらに人数が必要になる。
12	市職員の消防団加入率が20%にも達しておらず、もっと増やしてほしい。
13	町内で火災があった際、町内会長と防災士が現場に向かった。対策本部の設置や安否確認の必要があったが、町内会長をはじめ三役が機能していなかった。越権行為だったかもしれないが、防災士で積極的に動いた部分が多かった。そういった事例もある。

意見	
14	災害が多くなっており、防災士への要望や希望も多くなっている。今冬の大雪により雪下ろしのボランティア要請に対し、65歳以下の防災士に作業を依頼しようとしたが、対象者が4名しかおらず、防災士の高齢化が進んでいる。防災士は、資格取得後にボランティアで経験を積まなければ力がつかない。また、若手を増やすためにも、防災士養成に対する助成をお願いしたい。
15	町内会長と防災士を兼任していると、どうしても町内会長の仕事が優先される。いかに住民の防災意識を高めていくかが大切だと考えている。